

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

長岡市長 磯田 達伸

市町村名 (市町村コード)	長岡市 (152021)
地域名 (地域内農業集落名)	宮内地域 (横枕 下条 釜沢 宮内 曲新町 今井 左近 鷺ノ巣 三和 上前島 上島 水梨 青山 青島 青木 摂田屋 前島 村松 大宮 竹町 仲子 町田 定明 平島 豊詰)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年2月21日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

・入り作も多い地域であるが、耕作面積の半数は非認定農業者が担っており、6～70代以上の方が占める。この高齢の非担い手が離農したのち、現在の耕作者でどの程度まかなうことができるのかを確認する必要がある。
・特に村松から横枕、鷺ノ巣、竹町、釜沢では後継者不足が顕著であり、いずれ耕作者がいなくなることが懸念される。

(2) 地域における農業の将来の在り方

入り作も多い地域であり、現在の耕作者で担えるエリアを可視化し、水稻作を中心として農地の集約を進めることを目標とする。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	601.14 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	479.79 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

農振農用地区域内の農地を農業上の利用が行われる区域とする。

注: 区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
入り作者も多く地域の農地をまかっているため、入り作者も含めた中で今後受けるエリアのおおまかなゾーニングを実施し、集約化への取組を進める。
(2)農地中間管理機構の活用方針
農地中間管理機構を活用し、農地の集積・集約化を進める。
(3)基盤整備事業への取組方針
圃場整備事業の話が出ている地域においては、今後地元の理解や関係機関との調整が課題。大規模圃場整備事業以外でも、多面的機能支払を活用した農地管理、水利の見直しが近々の課題。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
入り作農家も地域の重要な担い手であるため、耕作エリアを話し合い、離農者の受け皿となる。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input type="checkbox"/>	①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/>	②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/>	③スマート農業	<input type="checkbox"/>	④輸出	<input type="checkbox"/>	⑤果樹等
<input type="checkbox"/>	⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/>	⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/>	⑧農業用施設	<input type="checkbox"/>	⑨耕畜連携	<input type="checkbox"/>	⑩その他

【選択した上記の取組方針】

--